２９．研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号：０３００６８１０４

病院施設番号：０３００６８　　臨床研修病院の名称：山形市立病院済生館

臨床研修病院群番号：０３００６８１　　臨床研修病院群名：山形市立病院済生館臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

１．研修プログラムの名称	山形市立病院済生館医師臨床研修プログラム
２．研修プログラムの特色	1 年次は内科系 5 科（消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内科（糖尿病・内分泌、腎臓、血液）、脳神経内科）から 8 週以上の組み合わせで 24 週以上、救急・麻酔（各 4 週）を基本研修としてローテーションする。1 年次の選択科研修は 8 週単位とする。 外科及び小児科は 4 週以上（ローテートは 1 年次でも 2 年次でも可）を必修とするが、1 年次にローテートする場合は 8 週単位とする。 産婦人科（4 週以上）、精神科（4 週）、地域医療（4 週）の必修科研修は 2 年次に行う。 救急研修は 1 年次の救急科研修 8 週（麻酔科 4 週）に加え、救急講習会受講後の 1 年次の 6 月から、上級医指導のもと月 4 回の救急室での当直研修がある。 一般外来研修は、内科、外科、小児科ローテート時及び地域医療で週 1 回、初診患者の外来診療を指導医のもとで行う（延べ 4 週）。 2 年間で最大 44 週のオプション期間があり、自由に希望診療科の研修が可能である。 卒後研修後、引き続き当院で内科専門研修を希望する場合は、2 年次に内科系診療科のローテーションも可能である。
３．臨床研修の目標の概要	臨床研修は医師として最初の臨床修練の場であり、将来のあらゆる医療人の基盤となるべきジェネラル・フィジシャンとしての臨床能力を獲得するために、頻度の高い日常的疾患の適切なプライマリ・ケアと救急疾患の初期対応の知識と技能を修得する。同時に、患者の持つさまざまな問題を総合的・全人的に捉え、患者との信頼関係を醸成できる研修を目指す。さらに、EBM に基づいた合理的な判断と最善の治療を選択できる論理的な問題解決能力を修得する。また、多様化、高度化する社会的ニーズに応えるべく、インフォームド・コンセント、医療事故防止、地域医療連携、医療・介護・福祉の多職種協働などの方策を身につける。
４．研修期間	（　２　）年　（原則として、「２年」と記入してください。）
備考	研修後そのまま専門研修に入り 3 年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 専門研修プログラム連携施設となっており、初期研修後専門研修を行うことも可能

５．臨床研修を行う分野

研修分野ごとの病院又は施設（研修分野ごとの研修期間）

＊　同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称（病院施設番号）を記入してください。

＊　研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。

＊　選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。

		病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
必修科目・分野	内科	030068	山形市立病院済生館	２４週	１週
	救急部門	030068	山形市立病院済生館	１２週以上	
	地域医療	034745 031262	朝日町立病院 白鷹町立病院	４週	一般外来　１週 在宅診療　１週
	外科	030068	山形市立病院済生館	４週以上	１週
	小児科	030068	山形市立病院済生館	４週以上	１週
	産婦人科	030068	山形市立病院済生館	４週以上	

	精神科	066629	かみのやま病院	４週	
	一般外来	030068	山形市立病院済生館	４週	
病院で定めた必修科目					週
					週
					週
					週
選択科目	選択科	030068	山形市立病院済生館	４４週	週
					週

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 96 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 8 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された４週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約９０回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・４週※但し、４週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科、地域医療
※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること
選択科・・・消化器内科、呼吸器内科、循環器内科、内科（糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、血液内科）、脳神経内科、小児科（感染症）、皮膚科、放射線科、外科、整形外科、脳神経外科、ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉・頭頸部外科、麻酔科

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 030068	臨床研修病院の名称: 山形市立病院済生館
	臨床研修病院群番号： 0300681	臨床研修病院群名:山形市立病院済生館臨床研修病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号　030068104

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
凡例　○×病院（○×○×○×）	内科	5												
凡例　▲■病院（▲■▲■▲■）	外科	3												
凡例　△□病院（△□△□△□）	外科			3										
山形市立病院済生館（030068）	内科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
山形市立病院済生館（030068）	救急	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
山形市立病院済生館（030068）	選択科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。	病院施設番号： 030068	臨床研修病院の名称: 山形市立病院済生館
	臨床研修病院群番号： 0300681	臨床研修病院群名:山形市立病院済生館臨床研修病院群

６．研修スケジュール（一年次・二年次：いずれかに○）

プログラム番号　030068104

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。＊１

(No. 1)

病院又は施設の名称（病院施設番号）	研修分野＊２	1～4週	5～8週	9～12週	11～16週	17～20週	21～24週	25～28週	29～32週	33～36週	37～40週	41～44週	45～48週	49～52週
山形市立病院済生館（030068）	選択科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
山形市立病院済生館（030068）	外科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
山形市立病院済生館（030068）	小児科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
山形市立病院済生館（030068）	産婦人科	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
山形市立病院済生館（030068）	一般外来	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
かみのやま病院（066629）	精神科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
朝日町立病院（034745）	地域医療	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
白鷹町立病院（031262）	地域医療	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

＊１：臨床研修病院群における臨床研修で、１つの研修プログラムの中で研修医によって研修を行う研修分野の順番が異なる研修方法（たすきがけ方式等）を採用する場合は、当該研修プログラムの研修分野並びに当該分野の研修を行う病院又は施設の名称及び研修期間を本用紙に記入した上で、研修分野の順番のパターンごとに研修スケジュールを別葉に記入すること。また、同様の研修プログラムが複数存在する場合は、すべての研修プログラムを１枚にまとめたものを添付すること。

＊２：「研修分野」欄には、「５．臨床研修を行う分野」欄に記入した研修分野を記入すること。

＊３：選択科目の研修分野の各月の研修人数については、病院ごとの研修医の受入予定の中で考えられる最大の受入数を記入すること。